

## 行財政改革に対する町民からのご意見と町の考え方

平成17年7月  
松川町

平成17年6月30日までに、行財政改革についてパブリックコメントによりご意見等の募集を行ったところ、13件の意見が寄せられました。町民の皆さんには貴重なご意見をいただき、大変ありがとうございました。

いただいたご意見につきましては、下記のとおり町の考え方を示すとともに、今後の松川町自治体経営改革プラン（以下「改革プラン」といいます。）策定に反映させていただきます。

なお、取りまとめの便宜上、寄せられたご意見等は要約させていただきました。

項目	意見の要旨	町の考え方
行財政改革全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>町長の強いリーダーシップのもとに、限られた財源でもって、できるだけ多くの良いアウトプットを出して頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度中に策定する改革プランに基づいて、町長のリーダーシップの下、職員一丸となって改革に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしく願います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>改革をするために大切なことは現状把握であることから、骨子案に掲げられた全ての項目について、過去にどのような施策が実施され、その結果はどうなっているのかという評価を実施し、公開すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町では、これまでに昭和60年及び平成8年に行財政改革大綱を策定するとともに、行財政改革推進会議（庁内プロジェクトチーム）を中心として、行財政改革に取り組んでまいりました。しかし、こうした行財政改革大綱の枠組みでは、その内容はいわゆる行政経費の節減にとどまっていたことから、今般、従来の行財政運営を地方分権時代の自治体経営という視点に捉えなおし、改革プランを策定することとしています。プラン策定後は、有識者による松川町自治体経営審議会により進捗状況をチェックしていただき、その結果は町民の皆さんに公表していく予定です。ご理解とご協力をよろしく願います。</li> </ul>
住民参画と情報共有による自治体経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月発行される広報・館報を議会だよりにあわせて発行すればよいのでは。チャンネルYOUでも町の情報は十分満たされるし、表紙カラーで経費を使う必要はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報・館報については、統合も含めて検討を行い、読者の側に立った町の広報誌の充実を図ってまいります。</li> <li>改革プラン（素案）P6中『広報「まつかわ」の充実』として記述させていただきました。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の自治会懇談会はとてもよいことだと思うので、懇談会で出た小さな意見でも大いに取り入れて、将来子供たちに負担のかからない行政運営を望みたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり懇談会は今回初めての試みということで、試行錯誤で取り組んでまいりましたが、皆様のご協力により、大勢のご参加をいただき、貴重な意見を数多く伺うことができました。今後も定期的に懇談会を開催する方向で検討し、町民の意見を反映した自治体経営を推進してまいります。 改革プラン（素案）P 5 中『町政まちづくり懇談会の実施』として記述させていただきました。</li> </ul>
<p>効率的な経営システムの実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、下條村が綿半と人事交流を行い、民間活力を役場に入れて活性化させたという話があるが、中途採用を行うことや外部に人材を派遣することで民間活力の活用を。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、町では農林水産省及び長野県と人事交流を行っておりますが、今後も組織の活性化と人材育成のため、他自治体・民間企業との人事交流を積極的に検討し、実施してまいります。 改革プラン（素案）P 8 中『他自治体・民間企業との人事交流』として記述させていただきました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数の削減は評価できるが、給与実態の見直しにまで踏み込み、民間並みに下方修正すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公務員の給与については、一部の自治体で不適切な事例が見られ、国民の強い批判にさらされているところです。町では、昇格昇任試験制度を充実することや成果主義による人事給与制度の構築により、住民の皆さんが納得する人事給与制度改革を実施してまいります。 改革プラン（素案）P 8 中『昇格昇任試験制度を全職員対象に実施』、P 9 中『成果主義による人事給与制度の構築』として記述させていただきました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人的資源が不足していることから、人的資源について大項目を計上すべき。松川町を戦略的に経営するためには、経営資源としての人材を確保すべき。従来のままの配置転換を「ジョブローテーション」と英語にただけでは、視野や知識・技術は幅広くなならない。人材の教育や中途採用には無理があることから、県外他市町村や企業との人事交流や災害市町村への人員派遣を行うべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方分権時代の自治体経営を担っていける人材を育成・確保するため、松川町職員人材育成基本方針を策定することとし、従来の配置転換ではなく、ジョブローテーションとエキスパート配置により高度な行政サービスを提供できる人材を育成してまいります。 また、組織の活性化と人材育成のため、他自治体や民間企業との人事交流を積極的に検討し、実施してまいります。 改革プラン（素案）P 7 中『松川町人材育成基本方針の策定』、P 8 中『ジョブローテーションとエキスパート配置による人材制</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の財政が厳しければ、人件費等に目をつけ、職員1人1人が無駄のない仕事ができるように縦のつながり特に横のつながりができる行政運営をお願いしたい。</li> </ul>	<p>度』『他自治体・民間企業等との人事交流』として記述させていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正規職員数の削減に取り組みながら、地域戦略本部としての組織機構を検討することとしており、従来の課や係の枠を越えて、横の連携を強化したグループ制を導入してまいります。</li> </ul> <p>改革プラン(素案)P9中『組織機構改革とグループ制の導入』として記述させていただきました。</p>
健全な財政運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画が机上の空論とならないよう、土台となる財政に重きを置くことが先決であり、まずは何年越しの財政正常化案を熟慮して、提案すべき。</li> <li>・インター駐車場については、何日以上の利用は第2駐車場に駐車するように指示することで、お金をかけずに結果が出る。</li> <li>・事業を遂行していく延長に成果があると考え従来からの発想から脱却し、事業には必ず目的があり、その目的(未来のあるべき姿)からみた現状評価の仕組みを、5S行動によって庁内組織にシステム化すべき。</li> </ul> <p>5Sとは、整理、整頓、清掃、清潔、躰のローマ字の頭文字をとったもので、合理的な行動規範ともいえるべくもの。ISOはもとよりトヨタ生産システムの根底に流れているなど、経営現場における基本の行動ルール。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで策定した1～3次計画についての評価が行われていない。それぞれの細目について評価を行えば、限られた経営資源の適正な配分ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な財政運営を確立するため、「中長期財政計画(財政見積)」を策定し、公表します。</li> </ul> <p>改革プラン(素案)P12中『中長期財政計画の策定・公表』として記述させていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インター駐車場については、受益者負担の適正化という観点から、利用料の徴収を検討しています。駐車場の混雑緩和という点については、ご意見を参考にさせていただきます。</li> <li>・行政評価制度については、平成14年度より事務事業評価を導入して事業の見直しに取り組み、本年度より施策評価を導入するとともに、評価結果を公表することとしています。今後も継続的に問題点を見直し、制度の充実を図ってまいります。</li> </ul> <p>改革プラン(素案)P12中『行政評価制度による行政サービスの最適化』として記述させていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次総合計画の評価については、今年度の行政評価において実施し、その結果を公表する予定です。評価結果については、第4次総合計画の策定に反映させるとともに、限られた経営資源の適正な配分に役立ててまいります。</li> </ul>
議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪市が議員定数を半分近く削減したように、当町でも思い切った削減をすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員定数については、前回の選挙より18名から2名削減され、現在16名となっています。現在も、議会においては、「議会のあり方研究会」が開催され、分権時代の地方議会のあり方について総合的な検討が行われているところです。</li> </ul>

